

ひろげる つながる ろうけんの輪

ろうけん

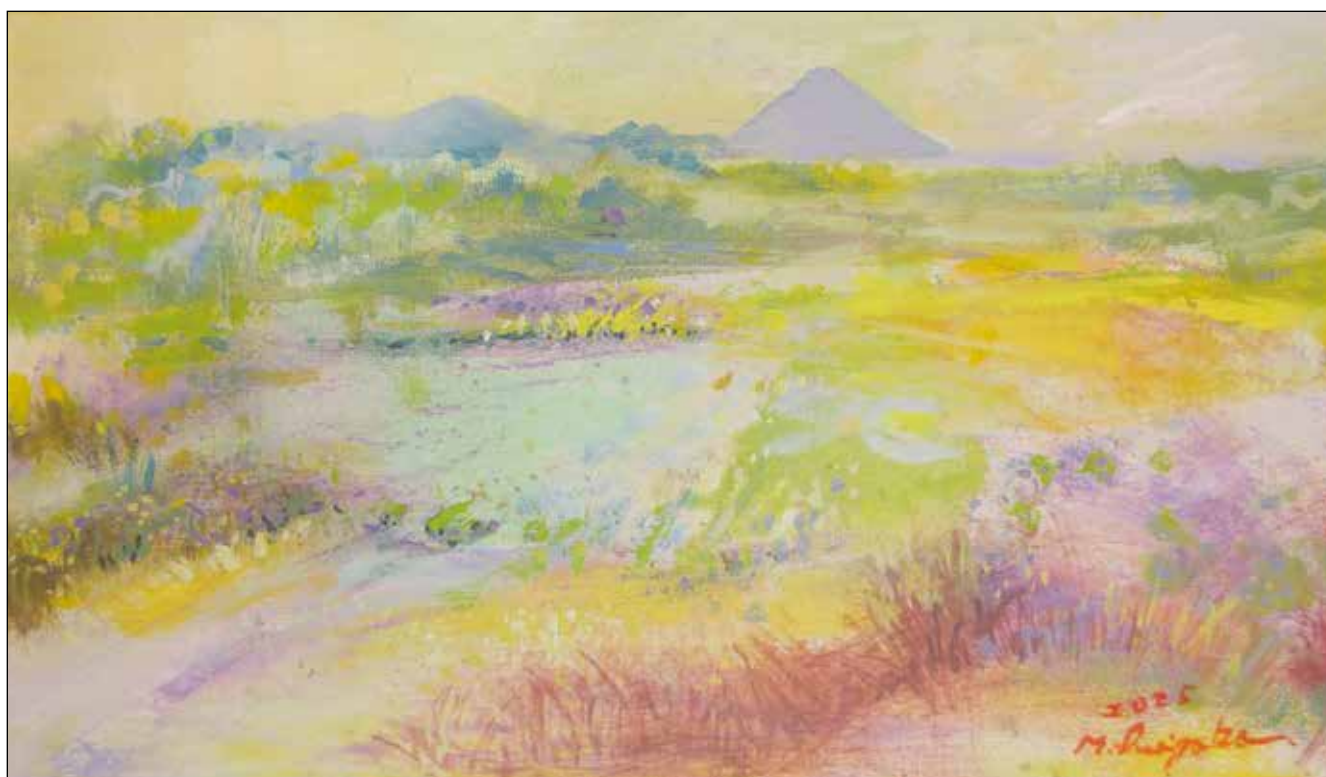
ROKEN Kagoshima

鹿児島



No.123

令和8年(2026)
4月1日発行



「南薩の大地、早春」 祝迫正豊

公益社団法人 鹿児島県老人保健施設協会

INDEX

時代を読む	1
牧角 寛郎	
第30回鹿児島県老人保健施設大会	2~3
研く 究める	4~9
令和7年度 研修会	10
協会だより	11
こほれおちたものもの ⁴⁷	12
三角 みづ紀	
ふるさとフォーカス	13
ぶらぶらが素敵 かごしま ²³	14~15
ろうけん広場	16
かごしまの食卓 春編	17
介護用品あれこれ	18
老健に入るためのご案内	19
あなたの地域の介護老人保健施設	20~24
伊佐・始良地区	
日置・川薩・北薩地区	
鹿児島地区	
曾於・肝属地区	
南薩地区・熊毛・大島地区	
表紙絵	
「南薩の大地、早春」	25
祝迫 正豊	
編集後記	25

ろうけんとは

「ろうけん」とは、介護保険が適用される介護老人保健施設の愛称です。県内の76カ所の施設が公益社団法人鹿児島県老人保健施設協会を組織しています。この冊子「ろうけん鹿児島」は、同協会の広報誌です。



衆議院選挙結果から解く

老健の行く末

鹿児島県老人保健施設協会 理事

牧角 寛郎



な勤務体制の整備も重要となります。人材はサービスの質そのものであり、安定的な確保なくして持続可能な運営は実現できません。

③「財政面の持続可能性への対応」

高齢化の進行に伴い介護給付費は増大しており、給付と負担のバランスをどう取るかが大きな課題となっています。老健としては、効率的な運営体制の構築や無駄の削減に努めるとともに、ICTやDXの活用による業務改善を進める必要があると思います。そのためには、政策動向を注視し、介護報酬改定に柔軟に対応できる経営基盤を整えることも重要だと思います。

④「多様化するニーズへの対応」

重度認知症の利用者や医療ニーズの高い利用者が増加する中では、多職種連携による包括的ケアが欠かせません。医師、看護師、介護士、相談員、介護支援専門員、理学（作業）療法士、管理栄養士などが協働し、利用者一人ひとりの状態に応じた個別ケアを提供する体制を強化すべきであるし、家族支援や看取

りへの対応も含め、「生活の場」としての質の向上が求められていると思います。

さらに、地域共生社会の実現という視点も重要であります。老健は高齢者だけの施設ではなく、地域住民との交流やボランティア活動の受け入れ、防災拠点としての機能など、多面的な役割を担うことが期待されています。選挙で示された「安心して暮らせる社会」の実現には、地域とのつながりを深め、孤立を防ぐ取り組みが必須であると思います。

総じて、衆議院議員選挙の結果が示す民意は、社会保障の安定と将来への安心の確保だと思います。すなわち、老健はその中核を担う存在として、在宅復帰支援の強化、人材確保、財政の持続可能性、医療介護連携、地域との共生という複数の課題に総合的に取り組む必要があります。現場からの創意工夫と専門性の向上を重ねることで、利用者と家族が安心して利用できる持続可能な老健の姿を築いていくことが求められていると思います。

衆議院議員選挙の結果は、国民が今後の社会保障の方向性、とりわけ急速に進む少子高齢化への対応に強く関心を寄せていることを改めて示したと思います。物価高や経済対策と並び、医療・介護を含む「持続可能な社会保障」は主要な争点となり、安定した制度運営と将来への不安軽減が求められています。こうした民意を踏まえると、老健の在り方も、従来の枠組みにとどまらず、より戦略的かつ地域密着型へと進化する必要があると思います。

①「在宅復帰支援強化の重要性」

高齢者人口が増加し続ける中、病院と在宅の間をつなぐ中間施設としての役割はより一層大きくなります。すなわち、リハビリテーションを中心に、短

期集中型の支援や退所後のフォローアップ体制を充実させることで、在宅生活の継続を支える拠点としての機能を高めることが求められ、地域包括ケアシステムのなかで、医療機関、訪問看護、居宅介護支援事業所などとの連携を強化し、切れ目のない支援体制を構築することが不可欠だと思います。

②「人材確保と処遇改善」

選挙でも介護人材不足への対応は重要政策として掲げられました。老健においても、賃金水準の引き上げやキャリアパスの明確化、研修制度の充実を通じて専門性を高め、働き続けられる環境づくりが必要だと思います。また、外国人の受け入れや多様な働き方の導入、子育て世代や高齢職員が活躍できる柔軟



ハイブリッド方式で開催された県大会。会場には2日間で延べ270人が参加しました

第30回鹿児島県老人保健施設大会

かごんま老健万博 ～四半世紀を超えて、老健の未来へ～

口演で研究成果披露 ハイブリッド方式で開催
医療系専門校の学生は会場参加

第30回鹿児島県老人保健施設大会は2月17、18日、鹿児島市の県医師会館で開催されました。テーマは「かごんま老健万博～四半世紀を超えて、老健の未来へ～」。各施設が人手不足や利用者の支援などの問題で悩むなか、どんな手法で克服していくか、日ごろから取り組んでいる課題などについて発表しました。(米森)

ZoomとYouTube配信によるハイブリッド方式で運営。会場には2日間で、鹿児島医療技術専門学校と鹿児島医療福祉専門学校の学生30人を含め延べ270人が参加しました。

開会式では前原くるみ理事が、深刻化する人手不足などで職場環境は厳しいことに触れながら、「老健で働いていて良かった、利用者さまの笑顔が見られて良かったなどとなるよう、楽しみながら学んでください」とあいさつをしました。

2日間の口演数は25。①医療・介護②在宅支援・地域支援・安全管理・運営管理③一般的なケア・リハビリ・認知症④食事・栄養・口腔の4つのセッションで、登壇者は日ごろ取り組んでいる研究成果や活動実績

初日は一般社団法人 GreenZone Labの代表理事・正高佑志氏が「薬と人の関わりをどう捉えるか」のテーマで講演。老健きりしまで非常勤医師として務める正高氏は医療大麻の安全性や有用性などに触れるなど、薬についての考察を披露しました。

福祉用具や介護ロボットを紹介・展示・模擬体験するフロアもあり、14社が参加。大会参加者はセッションの合間を縫って、熱心に説明を聞いていました。



開会のあいさつをする前原くるみ理事



特別講演をした正高佑志医師



スライドを使いながら日ごろの取り組みを披露



福祉用具や介護ロボットの展示も行われた



発表に対して熱心に質問する参加者も

研く究める

よりよい介護を自さし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

介護リテラシーの向上

〜押さえるべき介護のポイント“ポジションニング”〜

介護老人保健施設 サンセリテのがた(大崎町) 理学療法士 宮城明日香

【はじめに】

体位交換やポジションニングは、特に寝たきりの利用者の関節拘縮進行予防や褥瘡予防において重要な役割を果たす。当施設では専門棟介護職(以下CW)からリハビリ職に対してポジションニングに関する相談を受けることが多く、個別指導やベッドサイドへの写真掲示を行っていた。しかし、実際には適切なポジションニングが行われておらず、筋緊張亢進や関節拘縮の進行がみられ、皮膚状態の悪化や着脱介助の困難に繋がる事例があった。

そこで、CWを対象に現状のポジションニングの知識と実践能力を評価し、結果を基に指導法や研修プログラムの検討を行い、ポジションニング技術の向上を通じて介護リテラシーを高め、利用者の生活の質の向上を目指した。

【方法】

CW 19名を対象に、令和6年10月「グープのポジションニングコンパクトガイド」を用いて、側臥位のポジションニング指導を実施、同年11月にポジションニングの理解度を評価するため写真テストと実技テストを実施した。

写真テストでは、指導内容を基にクッションや上肢の位置が適切ではない写真と適切な写真の計5枚で正誤判定を実施。

実技テストでは、①背中のクッション位置、②下肢のクッション位置、③体幹のねじれ、④クッション配置後の隙間、⑤ポジションニング方法、の5項目を設定し、減点法で実践能力を評価した。写真・実技テストともに0〜5点で採点し、4点以上を合格基準とした。

【結果】

写真テストでは、19名中12名が合格し、満点取得者は5名。合格者の内5名が有資格者であり、満点取得者の有資格者は1名(介護福祉士)。実技テストでは19名中2名が合格し、満点取得者はおらず、合格者2名は資格を有していなかった。

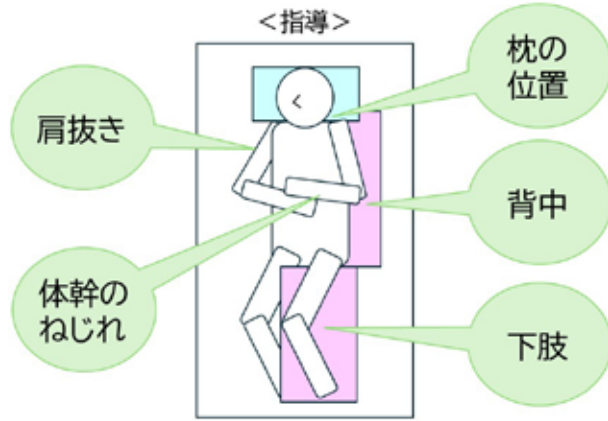
写真テストでは、枕や下肢クッションの隙間、肩関節の適切な位置調整の2項目において理解できていないCWが多かった。実技テストでは、①背中のクッション位置、③体幹のねじれ、④クッション配置後の隙間の3項目において実施できていないCWが多かった。

【考察】

本研究の結果から、ポジションニングに関する知識を有しているが、実践能力は不十分であること



- 指導法・研修プログラムの検討
- 利用者のQOL向上を目指す



が明らかとなった。このことから、当施設では体位交換は行えているが適切なポジショニングが行えず、可動域制限や、褥瘡予防、治療の妨げの要因になっていると考えられる。体位交換や褥瘡予防の基礎はCW同士で業務内にて指導・伝達されていたが、ポジショニングについて理解できているCWが極端に少なく、誤った知識の伝達により技術の定着が妨げられていると考える。

当施設の専門棟では、介護未経験者や技能実習生の割合が多く、



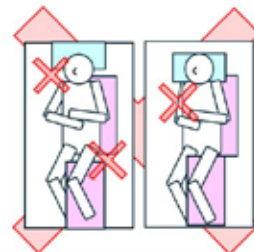
0~5点採点
↓
4点以上合格

介護福祉士の資格を有する者の割合が少ないが、資格の有無と知識・実践能力との間に明確な関連性は認められず、有資格者であっても十分な知識や実践能力を備えていないとは限らないことが明らかとなった。

ポジショニング指導において個

写真テスト

合格 12/19名(介護福祉士5名)
満点取得者 5/12名(介護福祉士1名)



実技テスト

合格 2/19名(介護福祉士0名)
満点取得者 0/ 2名



別指導中心では、CW個人の能力やポジショニングに対する意識に依存する部分が大きく、施設全体の介護力向上につながらなかった。

褥瘡予防だけでなく、快適性の向上や筋緊張亢進・関節拘縮予防につながる等のポジショニングへ

【結語】

本研究を通じて、CWのポジショニングに関する知識と実践能力を評価し、現場における具体的な課題を明確化することができた。ポジショニングに対する認識の低さ、施設全体での指導不足、ポジショニングの効果に対する理解不足が明らかとなった。

介護福祉士養成教育においてポジショニングは重要視されつつあるが、具体的な技術教育が行われていないことが課題となっている。

これらの結果を踏まえ、CWの実践能力を向上させるためには、日常業務の中でポジショニングを意識する習慣を身につけるとともに、定期的な研修やテストを継続的に実施することが必要である。

ポジショニングの重要性を実感する機会を増やし、応用力のある技術習得を促進することが、介護リテラシーを高め、利用者の快適性や生活の質を向上させると考える。

研く究める

よりよい介護を自さし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

ご利用者、職員双方に安全で快適な施設であるために 「アドバイザー制度導入による腰痛予防対策」

介護老人保健施設 ろうけん始良（始良市） 言語聴覚士 宮永 拓也

【はじめに】

医療法人大進会が運用する介護老人保健施設「ろうけん始良」では、増加する職員の腰痛に対して、令和4年度より腰痛予防対策として「腰痛予防アドバイザー」（以下、アドバイザー）を活用した制度運用を開始した。この取り組みの成果について第36回全国介護保健施設大会山口にて発表した内容を基に紹介する。

【腰痛予防対策の取り組み前におこなった事】

①事前アンケートの実施（現状を把握する）

老健職員58名を対象として、腰痛に関する11項目のアンケート（ポデイメカニクスなど介助に必要な知識、腰痛への不安、介助場面ごとの腰痛の頻度、負担等）を実施した。

結果、ポデイメカニクスなど介助に必要な知識について9割が知っているが、6割以上が腰痛への不安や腰痛を経験していた。また、入浴介助（移乗）時とオムツ交換時に腰への負担や痛みが増大するという意見が多かった。

予想よりもはるかに腰に問題を抱えている職員が多く、早急に腰痛に関する知識や、正しい身体の使い方、福祉用具の使用方法等の技術を高める必要があることが分かった。

②腰痛予防アドバイザー制度設計（誰を主体に活動を展開するか）

事前アンケートの結果から、アドバイザーとして、入所者の介助に携わる事が多い介護士を中心としたメンバー構成を考えた。具体的に、初年度には、知識や技術を他者に伝える事ができるコミュニ

ケーション力や対策を確実に実行できる行動力がある4名を選出した。さらにアドバイザーを指導する「スーパーアドバイザー」を1名、研修全般を統括する「運用管理責任者」をリハビリテーション科から1名配置し、階層構造とした。スーパーアドバイザーを中心としたリハビリテーションスタッフ、アドバイザーの認定研修（概論、ポデイメカニクス、福祉用具の使用方法、腰痛リスクアセスメントなど）を2ヶ月間で計4回行った。（図1）

【アドバイザーの活動内容】

①全体研修

年1回、アドバイザーがポデイメカニクス、福祉用具の使用方法を中心に、法人内での全体研修を実施した。新入職員には、入職時に都度、研修を行った。（写真1）



図1 腰痛予防アドバイザー制度



写真① 法人研修の様子



写真② アドバイザーによる腰痛会議(毎月開催)



写真③ 腰痛通信

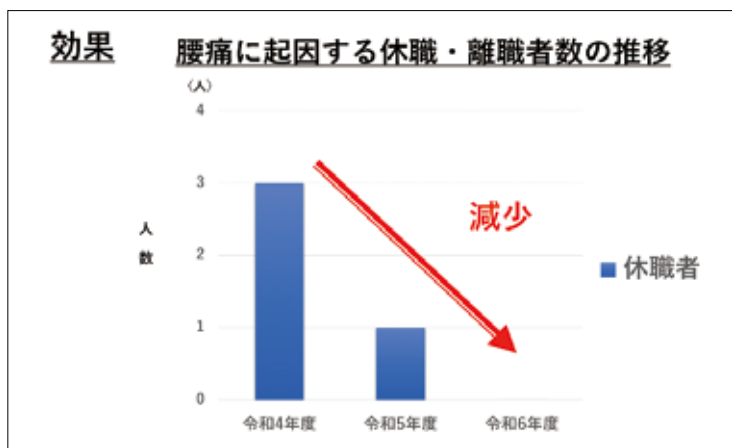


図2 休職者数の推移

②定期的な腰痛会議

現場のアドバイザーを中心とした「腰痛会議」を毎月実施し、福祉用具の使用状況の確認や、具体的な作業環境下での腰痛要因を話し合った。情報を共有するために会議録を作成し、職員全体に回覧した。(写真2)

③意識調査アンケート

活動開始2年後、フォローアップを目的に介護士・看護師を対象に福祉用具使用による意識調査アンケートを実施した。

④腰痛通信の発行

アドバイザーの中から自然発生的に、腰痛予防に関する職員の意

識を高めるための「腰痛通信」を発行したいという意見が出たため、3ヶ月ごとに配信する事とした。(写真3)

【結果】

①アンケート上での変化

意識調査アンケートの結果、回答者の72%で福祉用具を使用する事で作業時における腰への負担が軽減したという結果が得られた。

②休職者の減少

活動開始の令和4年度は腰痛に起因した休職者が3名だったが、令和5年度は1名、令和6年度は0名に減少した。(図2)

【考察と今後について】

今回の取り組みは形骸化しがちな委員会活動と異なり、現場の介護や看護に関わる職員内にアドバイザー制度を導入したことで、(1)腰痛予防に対する知識や意識が高まったこと (2)定期的な振り返りや対策の見直しにより効果を実感できたこと (3)迅速な意思決定を可能にして、日々、制度の修正が行われたこと等が、腰痛による休職の減少に繋がった。

現在、アドバイザーの活動は「下膳車や使用済みオムツ、リネンの移動」等、重量物に対する環境改善に取り組むことにも広がっている。

問題解決の能力も以前と比べ高い水準が求められる事から、今後は法人外の認定研修への参加や、モチベーションを維持するためのアドバイザー活動実績が評価されるシステムの提案も検討している。職員の腰痛予防に関する意識づけを定着させ、ご利用者と職員の双方が安全に快適に過ごせる施設を目指したい。

研 究 究 め る

よりよい介護を自さし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

レンタル福祉用具導入によるコスト削減の成果と運営課題

介護老人保健施設 青雲荘（始良市）

理学療法士 松尾 悟史
作業療法士 溝口加奈子

【目的】

介護保険サービスには福祉用具の貸与がある。しかし、施設サービスに該当する老人保健施設での貸与は不可となっている。そのため、施設側が備品として準備する必要がある。利用者に必要な多機能型車椅子などは高額なものが多く、個々に適したものを準備するとなると、多大なコストを要してしまう。

今回、施設側が契約者となり福祉用具のレンタル導入を試みた。2022年12月にレンタル導入開始し、31カ月間の取り組みにより、コスト削減が図れている。その成果と運営課題について報告する。

【期間】

2022年12月から2025年6月までの31カ月間

【対象】

包括対象である入所者のみ（短

期入所療養介護は除外）。レンタル品目は、施設備品になく利用者に必要な据置手すり、車椅子、歩行車等。

【結果】

対象期間のレンタル月額平均は予算内に収まり、レンタル総額は約79万円だった。仮に当初からレンタルではなく購入していた場合の費用を算出したところ、購入額は約354万円と判明した。よって、レンタルの方が約78%のコスト削減となっている。

【運営課題】

レンタルを導入するメリットは、①在庫を抱えないため倉庫管理がいらぬ、②初期投資額を少なくできる、③メンテナンス不要などがあげられる。

一方、デメリットとしては、①購入とレンタルの損益分岐点の把握、②利用者能力変化の把握、③取

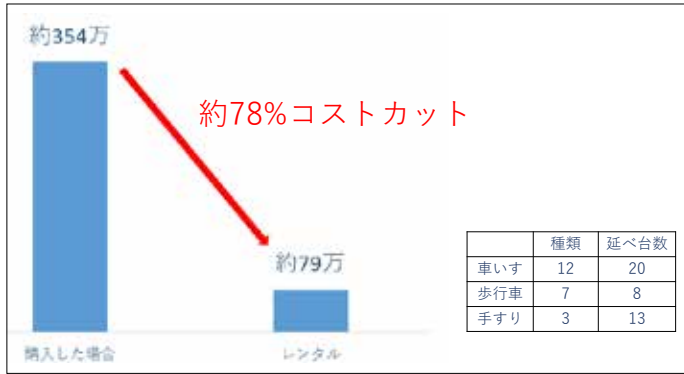
引業者との密な連絡、などがあげられる。デメリット②、③は、通常業務でも必要不可欠なことではあるが、コスト削減のためには、評価者の分析能力を向上させる努力が必要である。

デメリット①の損益分岐点とは、主に経営分野で使用されている用語であり、費用と売上が一致して利益がゼロになる地点のことを指す。費用よりも売上が大きければ組織の利益となり、その逆では損失となる。一方、レンタルの損益分岐点は、購入額と月額費用累積額がゼロになる地点を指す。月額費用累積額が購入額を上回ると、「買ったことばよかった！」と損したことになる。当施設でレンタルした備品のうち、今回は車椅子（12種類・延べ20台）に限定して分析を行ったところ、購入とレンタルの損益分岐点は平均2・9年だった。一方で、実際のレンタル期

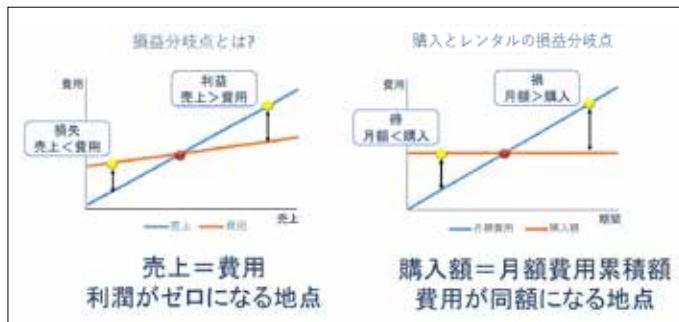
開始当初の月額予算25,000円
・対象期間31か月間の月額平均25,373円（予算1.5%超過）
車椅子導入後は予算40,000円以内に見直し（柔軟に対応中）
・11か月目からの月額平均32,932円（予算17.7%低減）



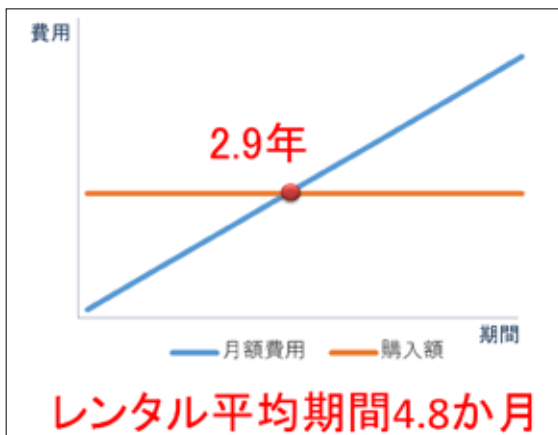
レンタル福祉用具の月額推移



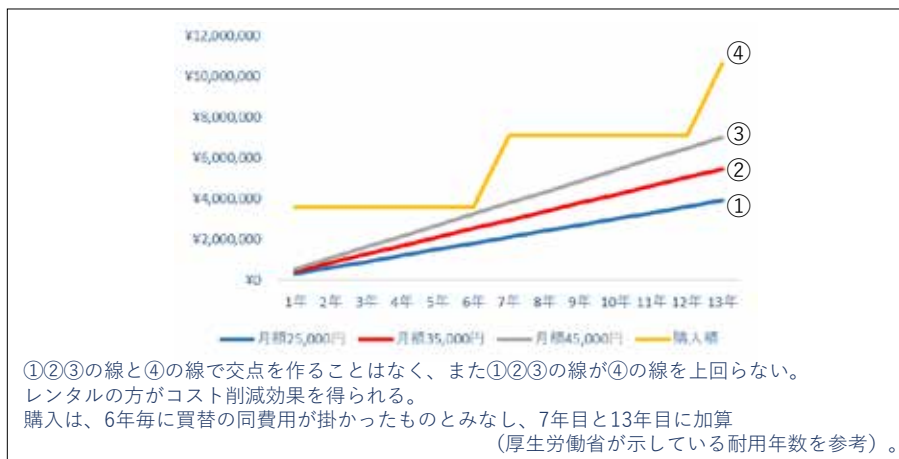
購入した場合とレンタル実費の比較



損益分岐点



購入とレンタルの損益分岐点(車椅子の場合)



レンタルと購入の予測推移

【予測】
当施設ではレンタル継続の予測線を作成して、継続判断の一つとしている。レンタル月額予算①25000円(当初予算)、②35000円(現況)、③40000円(予算増加した場合)、そして④購入時の予測推移線を作成。購入は、当初から購入していた場合の費用約354万円をもとに、6年毎に同費用が掛かったものとみなし、7年目と13年目に加算して算出している(厚生労働省が示している耐用年数を参考)。

作成した結果、①②③の線と④の線で交点を作ることとはなく、また①②③の線が④の線を上回らなかった。レンタルの方がコスト削減効果を得られると考え、当施設ではレンタルを継続している。

【まとめ】
レンタル導入により、コスト削減効果を得ることができた。その一方で、購入とレンタルの損益分岐点を常に考える必要がある。介護保険の改定率はプラスとなっていないが、収益率は決して高くない。生き残り続ける組織であるためには、効率的な人・物・金を常に考えて組織運営を行っていく必要がある。

なければならぬ。
今回の調査は当施設における取り組みの結果であり、同様の結果を得られるわけではない。それぞれの施設によるベッド数、介護度、備品保有数など、様々な要因によって左右されると考えられる。

令和7年度 研修会

令和7年度第1回看護・介護部研修

日時：令和8年2月9日（月）14：00～16：00

会場：鹿児島県医師会館3F中ホール

テーマ

「大切な人と過ごす最後の時を支えるケア～終末期の看護～」

講師：清水 作智子 先生（鹿児島大学医学部保健学科）

鹿児島大学医学部保健学科准教授をお招きし講演していただきました。

- ・終末期の身体的兆候や症状の変化と観察
- ・入所者と家族へのケア

について、体験談も交えながらわかりやすくお話していただきました。現場で働く職員にとって振り返る良い機会だったのではないかと思います。

参加された方の感想です。

評価：非常に良かった

理解：よく理解できた どちらかと言えば理解できた



感想

- ・とても分かりやすくイメージしやすい内容で、入所の方を思い出しながら学ぶことができました。ロールプレイも2回目があることで、考えの違いなどに気づくことができました。入所者や家族の気持ちに寄り添いながら看護していきたいを思います。ご指導ありがとうございました。
- ・週末ケアの経験がないため、難しいと感じた。利用者だけでなく、家族へのケアも重要だと学べた
- ・看取りに対応してきましたが、間違いではなかったと認識できました。多職種と連携を深めていきたいと思いました。
- ・わかりやすく理解できたので、今後に生かしていきたいを思います。
- ・わかりやすいスライドもあり、現場でも伝えたいを思います。不安が減るを思います。
- ・十数年前に先生の講演に参加したことがありました。普段からの関りを大切にして後悔しないようにしたいと思っています。
- ・ケアをするうえで、日ごろからのご利用者・ご家族との関りを大切にしていきたいを思います。もっと多くの方に聞いてほしかったです。
- ・終末期ケアに対しての考え方が理解できました。
- ・スピリチュアルケアについて、看護プランを作成する者として本人様・ご家族様の思いを引き出して、プラン作成し、それを多職種で達成できたらと思います。（ケアマネ）
- ・老健に就職し、看取りのことを初めて詳しく学べました。
- ・終末期というのは看護する側もご家族もとてもつらい時期だと思います。そのつらい時期も自分たちの対応次第で、辛くにも楽にもなるのだと思いました。自分たちの対応の仕方が、言葉一つで変わっていく中で、自分ができることは何かを考えていかなといけないと思いました。

どんな研修をしてほしいですか

- ・終末期ケアの食事について、管理栄養士さんに講演してほしい
 - ・終末期ケアについて来年度も行ってほしい
 - ・介護ソフトの活用について、他の施設での活用の仕方を知りたい
- 「寿」を使っているので、使用例等

介護老人保健施設城山老健 看護主任 塩田 明美



協会だより

令和8年3月～

●令和7年度第3回理事会

開催日：令和8年3月10日(火)16:30～

開催方法：鹿児島県医師会館3階小会議室及びZoomによる配信

テーマ：「カスタマーハラスメントについて」(仮題)

議題：令和年度の事業計画(案)及び収支予算(案)等について

●令和7年度第2回事務長部会

開催日：令和8年3月27日(金)14:30～16:00(予定)

場所：鹿児島県医師会館3階中ホール

テーマ：「SNSとサイバー犯罪対策について」(仮題)

講師：鹿児島県警様

●令和7年度第2回臨時会員総会

開催日：令和8年3月27日(水)16:30～

開催方法：鹿児島県医師会館3階中ホール及びZoomによる配信

議題：令和8年度の事業計画(案)及び収支予算(案)等について

●令和6年度第2回介護助手事業に係る企画評価委員会

開催日：令和8年3月25日(水)14:00～

場所：鹿児島県医師会館3階中ホール

実績報告等：久留須直也 准教授(鹿児島女子短期大学)

●令和8年度合同(ブロック代表事務長・研修担当委員・県大会実行委員)委員会

開催日：令和8年4月8日(水)14:30～16:00(予定)

場所：鹿児島県医師会館3階中ホール

【ご参考】

●第25回九州ブロック介護老人保健施設大会 in 長崎

開催日：令和8年7月16日(木)～17日(金)

会場：出島メッセ

テーマ：みんなにとってのあたりまえ カステラ チャンポン 老健

●第37回栃木全国介護老人保健施設大会

開催日：令和8年10月22日(木)～23日(金)

会場：ライトキューブ宇都宮マロニエプラザ他



(※)本号編集時点の情報です。やむを得ず変更する場合があります。詳細が確定次第あらためてファックスで会員施設へご案内します。

こぼれおちた

ものもの

47

三角 みづ紀



アメリカのアビタ・スプリングスの町から車に揺られて、ニューオーリンズに向かっていた。海と見聞違う大きな湖の上にある、長い道路を進む。

夫が制作したドキュメンタリーが、ルイジアナ州に位置するアビタ・スプリングスの国際映画祭にノミネートされた。わたしは慌てて、場所や移動手段を調べた。アメリカ南部のニューオーリンズより車で一時間ほどの場所に、その町はあった。

びつくりするくらい小さな町だった。市庁舎とカフェ、いくつかの教会、個人経営のスーパーマーケットの立ち並ぶところが町の中心。週末でもひとがほとんど歩いていなくて、アメリカの大都市ばかり旅してきたわたしたちには衝撃だった。そして、あたらしさを知ることができて、うれしかった。

田舎町が好きなたちは土地と食と映画を満喫し、三泊したの

明日も街へと



ちにニューオーリンズへと移動していた。ジャズ発祥の地で、名前はよく聞くけれども、訪れる機会って滅多にないんじゃないかな。ふたたび話

し合い、アビタ・スプリングスのみならず、ニューオーリンズにも二泊することに決めた。

ニューオーリンズで有名な観光地は、フレンチクォーター。旧市街は

熱帯の植物にあふれて、観光馬車が通り、路面電車も走っている。

統治下の影響が残るうつくしい建物が並ぶ通りを歩くと、映画のなかに入りこんだみたい。フランス貴族が多く住んでいた歴史があつたから、街のいたるところにフランス語が表記されている。

フレンチクォーターの宿は高すぎるので、ほんのちよつと離れたホテルを予約していて、映画祭チームのフィオナさんの車からスーツケースをおろして、別れを告げた。

睡眠不足が続いていて、チェックインした部屋で休みたくなつたが、二泊三日しかないのだ。スーツケースを開けたり閉めたりして、わたしたちは街へとくりだした。

背の低い建物の壁は鮮やかで、キャンディッシュョップがあり、ギャラリーが並ぶ通りもある。どこから音楽が聴こえてきたら、耳を頼りに進んだ。フレンチクォーター自体は、あまり広くない。ストリートミュージシャンの姿を、すぐに見つけることができる。

ジャクソン広場の前でジャズを演奏している若者たちがいて、ああニューオーリンズに来たのだと実感がわいてくる。

ガイドブックやインターネットで調べて、どうしても行きたかったのが、カフェ・デュ・モンド。創業して二百年近く経つ、ベニエとチコリ

コーヒーのお店だ。甘いものが好きなわたしは、もちろん四角いドーナツを注文する。

一月なのに日射しが強くて暖かい。アイスコーヒーも運ばれてきて、ベニエに振りかけられた粉砂糖を舐めたら、くらくらした。

旧市街に到着してから、わたしたちはずつと、くらくらとした目眩を感じていた。閑散とした田舎町と、賑やかな旧市街の差は、喧騒だけだろうか。

「町と街」

静けさと賑やかさ
余白と密度と温度
それらはそれぞれ
ちがう理由を持ち
ひとつとを誘って
わたしたちも同じ
目眩のなかで踊る

カフェ・デュ・モンドにすっかり魅了されたわたしたちは、自分たちでも呆れるくらいカフェのグッズを買い求めた。くらぐらの感覚を味わいながら、ふたたび手をつないで、明日も街へと出かけていく。

三角みづ紀(みすみ・みづき) 1981年鹿児島市生まれ。東京造形大学視覚伝達学科在学中に現代詩手帖賞、第1詩集で中原中也賞を受賞。第2詩集で南日本文学賞、歴程新鋭賞受賞。著書多数。執筆のほか朗読活動も精力的に行い、国内外の詩祭に招致される。近年は美術作品として詩を制作する等、あらゆる表現を現代詩として発信している。第22回(平成26年度)萩原朔太郎賞受賞。



①三の間続きの「表の間」。美しい庭園も望める
 ②鳳凰（ほうおう）が施された欄間が目を引き
 ③市来大迫家住宅の正面玄関。手入れの行き届いた広大な庭園は薩摩武家屋敷の庭園様式をとっている
 ④晴れの日にはカフェ内で展示されている薩摩型和船が外へ
 ⑤カフェはふんだんに木材が使われ、心が癒やされる

「市来大迫家住宅」(いちき串木野市湊町)

ふろしち「フォーカス」

いちき串木野市の閑静な住宅街に、「市来大迫家住宅」は建つ。1916（大正5）年に建築された木造平屋建て（329平方メートル）の近代和風住宅。天井や欄間などに施された繊細な技術が評価され、8年前に国の登録有形文化財に指定された。

旧薩摩街道に面した大迫家住宅は太平洋戦争で周囲の住宅は空襲ですべて焼失した中で、戦災を免れた。大迫家住宅の大きな特徴は、管理する大迫二郎さん（73）の生活の場になっており、日々の丁寧な見守りと手入れを通して今に息づいていることだ。

大正期の文化伝える

華やかな祝宴などが催された往時がしのばれる。部屋からは手入れの行き届いた和風庭園を望める。

注目は鳳凰などのデザインが施された欄間の美しさで、欄間からもれてくる光が神秘的。1941（昭和16）年、明治天皇の孫である竹田宮恒徳殿下が宿泊され、当時の歓待ぶりを記した記録を展示したコーナーも。

四季折々が楽しめる庭の一角にある土蔵はギャラリーになっており、甕島の大型定置網の網元時代の株券、当主が漢方医を展示している。漢方薬箱などが展示されている。

大迫家の隣には「ミュージアムカフェ舟」が併設されている。展示している「薩摩型和船」が目を引く。鹿児島市出身の博物館プロデューサー、故・砂田光紀さんが貴重な技術を残すため復元したものだ。木の香り漂うカフェ内には海や舟をイメージしたステンドグラスがあちこちに設置され癒やされる。

住宅公開は午前10時半・午後1時・午後2時半の1日3回（前日までの完全予約制）。見学料700円。火・水曜日定休。問い合わせ0996（36）21008（またはInstagram じつ）。

（編集委員・米森）

ぶらぶらが素敵 がごししま

vol.23

東川隆太郎

NPPO法人まちづくり地域フォーラム・
かごしま探検の会代表理事



霧島川



待世神社跡

南北600キロに及ぶ鹿児島県。気候や風土、文化に歴史にもそれぞれの地域に特徴があり、県内をめぐるだけでも相当な発見があります。そのような鹿児島県の意外な魅力を様々な角度から訪ねてみる連載です。

霧島神宮駅のある田口を訪ねて

霧島神宮駅のある田口周辺を訪ねて

最近、JR日豊本線の霧島神宮駅が話題となつている。駅舎内にカフェや土産物販売所が設けられ、隣接する石倉にはレストランも併設された。もちろん、これまでも霧島神宮や国立公園の玄関口としての役割を担っていたが、さらにその機能を増している。今回は、霧島神宮駅がある大字田口周辺を探访してみたい。

現在は霧島市だが、田口は旧霧島町であり、江戸時代には曾於郡郷の田口村であった。曾於郡郷は現在ではあまり聞きなれない地名かもしれないが、地頭仮屋や麓は重久に置かれており、霧島よりも旧国分に隣接する場所が中心地だった。

田口村には現在の霧島神宮が鎮座しているだけに、信仰の対象となる神社がほかにも点在している。1つが霧島中学校裏にある待世神社。神社がある場所は、文暦元(1234)年12月の御鉢噴火の際に被災した現在の霧島神宮の前身が御神体とともに移転していた場所にあたる。つまり仮の宮だったが、それでも約250年置かれていた由緒ある場所である。現在は稲荷神社が建立されている。

田口には、霧島神宮の主祭神である二二ギノミコトが天孫降臨の際、高千穂峰に降



高千穂峰



天子神社



野上神社



猿田彦神社



桂内の田の神



桂久武顕彰碑

り立つ列の先導をした猿田彦神を祭る神社もある。その名も猿田彦神社で、社殿なども新しく整然としている。近くには天子神社がある。この神社には、同じく天孫降臨の際にニニギノミコトの警護をしたとされる天忍日神などが祭られている。

この神社から霧島神宮方面に向かう道は旧道にあたり、坂道が続くが、途中には高千穂峰を美しく望むことができる場所もあり素敵な道だ。また野上神社もある。この神社は、ニニギノミコトの親神とされる天忍日命が祭られており、忠孝を尽くす社として信仰されている。

さて、神宮に近い集落に桂内がある。この名前は比較的新しい地名で、幕末の薩摩藩の家老であった桂久武に由来している。彼は慶応3（1867）年からこの地で家臣らと開拓事業に従事した。変革の時期を見通した行動であったとされている。久武は西南戦争で盟友の西郷隆盛とともに亡くなるが、この地には顕彰碑が建立されている。また顕彰碑横には、かわいい田の神も安置されている。

霧島神宮駅から一直線に霧島神宮に向かうのもよいが、見どころがたくさんある田口を散策しながら向かうのもお勧めである。

（ひがしかわ・りゅうたろう） 1972年、鹿児島市生まれ。鹿児島大学理学部地学科卒業。自他共に認める「まち歩き」のプロ。ガイドや講演会活動を通じて鹿児島の魅力を伝える活動を行っている。

ろうけん広場

食と歴史、海峡の街

全国老健施設大会・山口から

「昭和百年、老健 続く。想いを継ぎ 技を磨き 人を繋ぐ」を大会テーマに、第36回全国介護老人保健施設大会・山口が昨年11月、山口県下関市で開かれました。全国各地から3200人を超える参加があり、2日にわたり800以上の演題発表がありました。

大会会長の頼原健・全老連山口県支部長が「ようおいでませ山口へ。大いに学び大いに食し、印象に残る有意義な2日間となることを期待します」と、歓迎のあいさつをしました。

4月号「ろうけん鹿児島」では、大会会場や周辺で見かけた光景を写真で紹介します。（米）



下関市民会館で開かれた開会式



市民会館入り口で大会看板を前に記念写真



会場の一つ。海峡メッセ下関の横にそびえる海峡ゆめタワーは143m。エレベーターで70秒



タワー展望室からは、関門海峡、対岸の九州まで絶景のパノラマが広がる



次回大会をPRする栃木県のメンバー



イベント会場や会議室がある海峡メッセ下関は近代的な建物が目を引く



フグや名産の日本酒などで参加者をもてなした懇親会



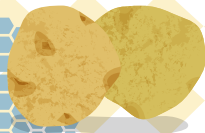
フグをデザインしたマンホールがユニーク



ふぐを「福(ふく)」と言い換え。「ふくの街、山口」を大会会場でだるまがアピール



国際航路が発着する「下関港国際ターミナル」。市民会館の近くにある



千葉しのぶさん

春編

かごしまの食卓

ちばしのぶ NPO法人霧島食育研究会理事長、管理栄養士・フードコーディネーター。「霧島・食の文化祭」「かごしま郷土料理マイスター講座」などを主宰する。2020年千葉しのぶ鹿児島食文化スタジオを設立。著書に「はじめての郷土料理」(燦燦舎)など。



鶏飯は、奄美が薩摩藩に治められていた江戸時代に、来島した藩の役人に地元住民がふるまった料理が由来だと伝えられています。本来の鶏飯は新鮮な1羽分の丸ごとの鶏をぶつ切りにして使い、澄んだスープにします。しかし、家庭で手軽につくるには鶏1羽を使うのは難しいものです。奄美出身の料理人の方にアドバイスを受け、もも肉と手羽先を使うレシピにしました。ご飯の上に、ほぐした鶏肉や錦糸卵などの好みの具をのせ、黄金色のスープをかけて、さらさらと食べる味は格別です。

レシピ

4人分

- 鶏手羽先4本 ● 鶏もも肉300g ● ショウガ20g
- 干しシイタケ4枚 ● 水1.5ℓ
- 調味料 (うす口醤油大さじ2、本みりん大さじ2、塩小さじ1)
- 錦糸卵 (卵2個、塩少々、油適宜)
- 椎茸の調味料(うす口醤油・砂糖各小さじ1)
- 大根のみそ漬けやパパイヤ漬けなど50g ● 小ネギ2、3本
- みかんの皮適宜 ● ごはん4杯分

- ① 干し椎茸は1カップ(200cc)の水で戻し、軸をとる。
- ② 鶏手羽先と鶏もも肉は水で洗い鍋に入れる。これに薄切りにしたショウガ、シイタケ(戻し汁は残しておく)、水1.5ℓを加えはじめは強火で、沸騰したら弱火にしてアクをとりながら1時間以上煮る。
- ③ フライパンに油をひき、溶いた卵に塩を加えた卵液を薄く焼いて細く切り錦糸卵を作る。
- ④ 大根のみそ漬けやパパイヤ漬けは粗みじん切り、小ネギは小口切り、ミカンの皮はみじん切りにする。
- ⑤ ②をザルでこし、水を足して1.2ℓにし調味料を加えスープにする。
- ⑥ 手羽先と鶏もも肉は細かく割く。
- ⑦ シイタケはうす切りにして、戻し汁、うす口醤油・砂糖各小さじ1を加え汁気が少し残るくらいまで弱火で煮る。
- ⑧ ごはんをよそい、皿に具を盛り付ける。適宜具をごはんに盛り、熱いスープをかけて食す。

鶏飯(けいはん)



鶏のスープははじめ強火で、沸騰後は、弱火にしてアクをとりながら1時間以上煮ていきましょう。

田舎風コロッケ



ジャガイモに具材を混ぜこむ際は煮汁ごと加えます。

日置市在住の女性が命名した「田舎風コロッケ」。その方のお母さんの得意料理で、幼いころ、目が不自由だったお母さんが一生懸命作ってくれた姿が忘れられないそうです。こま切れの豚肉を野菜と共に甘からく炒め煮したものをつぶしたジャガイモに混ぜ込みます。砂糖醤油味の肉の旨みが染みて後を引くおいしさです。冷めてもおいしく、おやつやお弁当のおかずにもぴったりです。

レシピ

10個分

- ジャガイモ 500g ● 豚肉薄切り(バラ・モモなど) 250g
- 酒 大さじ1と1/2 ● タマネギ 中1個
- ショウガ 10g ● 油 大さじ1
- 調味料(砂糖・うす口醤油各大さじ1と1/2)
- 衣(卵1個、小麦粉・パン粉)、油 各適宜
- 付け合わせ キャベツ・トマトなど適宜

- ① ジャガイモは皮付きのまま鍋に入れ、たっぷりの水を加えゆでる。
- ② 豚肉は2割長さに切り酒をまぶす。タマネギは粗みじん切り、ショウガはみじん切り。
- ③ フライパンに油大さじ1をひき、ショウガ、豚肉、タマネギの順でいため、調味料を加え炒め煮にする。
- ④ ①が柔らかくなったらざるにあけ、皮をむき熱いうちにつぶす。③を煮汁ごと加え混ぜ合わせ10等分し丸める。
- ⑤ ④に、小麦粉、大さじ2の水で薄めた卵液、パン粉をつけ、170度の油で薄いきつね色になるまで揚げる。せん切りキャベツやトマトなどととみに盛り合わせる。

介護用品 あれこれ

介護用品あれこれ

～シーンに合わせて杖先の固定と可動の切り替えが可能な多点式杖～

「四点可動式オン・オフさん」

(株)カクイックスウィング 作業療法士、福祉用具プランナー管理指導者 **湯脇 稔**

はじめに

今回紹介させていただく介護用品は、歩く環境や身体状況に合わせて杖先部分を固定と可動に変更可能な軽量4点式杖「四点可動式オン・オフさん」になります。

オン・オフさんの特徴

- ・支柱部のみ前後に可動するため、坂道などで常に4点がしっかり接地し安定した歩行ができます。
- ・杖先部分の切り替えネジを回すことで簡単に固定と15°可動の選択が可能です。
- ・本体がカーボン製で四点杖ながら重量430gと軽量です。
- ・握り心地がよく手が滑りにくい形状と素材のグリップカバー（TPE）採用。
- ・身長に合わせて11段階の高さ調整が可能（63.5～89cm）
- ・四点杖構造により手を放しても自立します。



おわりに

気温も暖かくなり、外出の機会が増えてくる季節に向けて、今回紹介しました「四点可動式杖オン・オフさん」を使って安心・安全なお出かけをされませんか。

- ・メーカー希望小売価格：22,500円（非課税対象品）
- ・資料引用：株式会社 島製作所「四点可動式オン・オフさん」リーフレット

老健に入るためのご案内

1つの事例

入院中の父を入所させたい

【質問】 70歳の父が脳梗塞で入院中です。病院での治療を終え、要介護2の認定を受けました。歩行が不安定なので、いったん老人保健施設に入所し、リハビリを受けたいと考えています。老人保健施設へ入所するにはどのような流れでしょうか。

【お答え】 介護老人保健施設（以下老健）は、病状が安定して、病院での治療よりも、看護や介護、リハビリに重点をおいたケアを必要とされる高齢者を対象とした施設で、高齢者の心身の自立を支援し、親しみやすい環境の中で、家庭生活への復帰を応援します。入所の利用対象者は要介護1〜5の認定を受けられた方です。以上のことから、このケースは老

健の入所対象になると考えられます。施設入所までの流れは次をご参照下さい。

まず施設を探す

現在、鹿児島県内には76の老健があり、各地に点在しています。これらの老健については、役場の介護保険窓口で紹介してもらったり、利用できる他、電話帳の「介護老人保健施設」欄や本誌巻末でも連絡先を知ることができますので、近くどんな老健があるのか探してみして下さい。

気軽に相談を

施設が見つかったら相談してみましょう。老健には必ず「支援相談員」がおり、入所等の相談に応じていますので、相談時には支援相談員を尋ねてみて下さい。相談の形は電話でも直接足を運んで

もかまいません。施設からは利用者ご本人とご家族について、また要介護度や連絡先などを確認させていただき、それに併せて施設の説明を行いますので、料金や待機状況など不明な点は何でも気軽に聞いて下さい。要介護認定を受けていない場合でも、申請の仕方などケースに応じた説明を行いますのでご心配ありません。

入所待機の申し込み

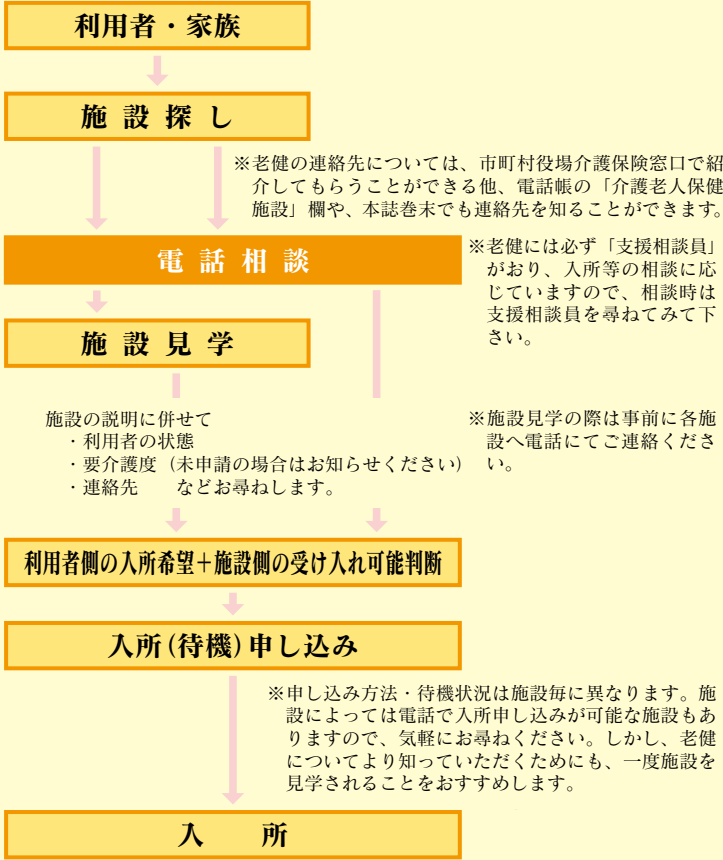
相談の後、利用者側が入所を希望され、施設側も受け入れ可能と判断しましたら、入所待機の申し込みを行い、一旦待機に入ってください。申し込み方法や待機状況は様々で、施設によっては電話での入所申し込みが可能なお所もあります。ですが、老健についても、時間をみつけて1度施設を見学される事をおすすめします。

待機中は

入所日が決定するまでの間に、利用者の状態の変化や、他施設への入所決定等があり、待機の必要がなくなられた場合には、待機中の施設へ連絡をいただくと助かります。

入所までの大まかな流れは、上記の様になります。また、ホームページも参考にしてみてください。

老健への入所の大まかな流れ



あなたの地域の介護老人保健施設 76カ所



⑦ろうけん始良
 〒899-5652 始良市平松5062
 ☎0995-65-8091 FAX 0995-67-1474
 希望ヶ丘病院
 居宅介護支援事業所ろうけん始良
 訪問介護事業所ろうけん始良



⑧青雲荘
 〒899-5431 始良市西餅田3024番地1
 ☎0995-65-8181 FAX 0995-64-5255
 青雲会病院
 居宅介護支援事業所青雲

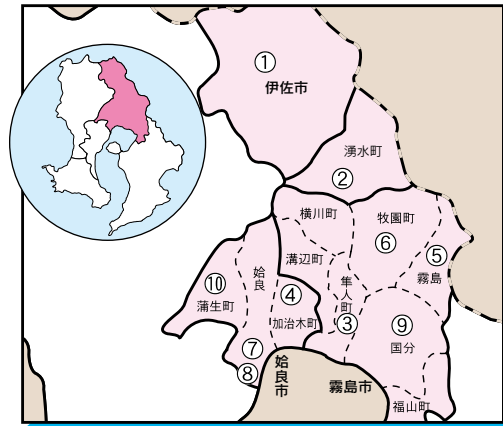


⑨アメニティ国分
 〒899-4301 霧島市国分重久361-1
 ☎0995-64-0666 FAX 0995-45-4515
 鵜木医院(指定介護療養型医療施設)
 うのきテイサービス(認知症専用)
 ヘルパーステーションアメニティ国分



⑩ろうけん大楠
 〒899-5304 始良市蒲生町下久徳1249-1
 ☎0995-54-3333 FAX 0995-54-3338
 ろうけん大楠グループホーム「たんぼほ」
 ろうけん大楠居宅介護支援事業所
 大楠苑(特別養護老人ホーム)

伊佐・始良地区



①はやひと
 〒895-2504 伊佐市大口青木3022-33
 ☎0995-22-8000 FAX 0995-22-4868
 大口温泉リハビリテーション病院
 ことぶき園(特別養護老人ホーム)
 グリーンハイツ周山(ケアハウス)



②寿芳苑
 〒899-6202 始良郡湧水町北方1857
 ☎0995-74-3300 FAX 0995-54-1236
 あいらの森ホスピタル
 グリーン光芳(特別養護老人ホーム)
 グループホーム愛の里



③希望の里
 〒899-5111 霧島市隼人町姫城2-157
 ☎0995-43-1600 FAX 0995-43-2359
 隼人温泉病院(療養型病床あり)
 訪問看護ステーション姫城
 グループホーム「ゆうゆう」



④シルバータウン加治木
 〒899-5241 始良市加治木町木田4719-1
 ☎0995-62-5755 FAX 0995-62-5756
 加治木温泉病院
 加治木望岳園(特別養護老人ホーム)
 龍門の里(軽費老人ホームA型)

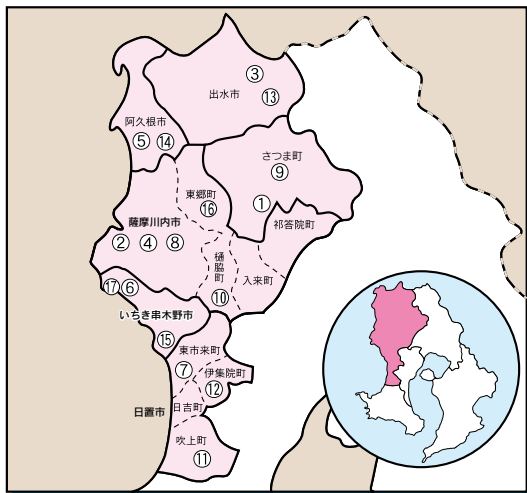


⑤きりしま
 〒899-4201 霧島市霧島田口2115-1
 ☎0995-57-3410 FAX 0995-57-3415
 霧島杉安病院
 訪問看護ステーションあんしん
 グループホームゆめ



⑥サンライトホーム
 〒899-6603 霧島市牧園町高千穂3617
 ☎0995-78-3811 FAX 0995-78-3387
 霧島桜ヶ丘病院
 霧島青葉園(身体障害者療護施設)
 霧島青寿園(介護老人福祉施設)

日置・川薩・北薩地区



①クオリエ
 〒895-1804 薩摩郡さつま町船木2311-8
 ☎0996-52-1100 FAX 0996-52-1134
 クオリアリハビリテーション病院
 訪問看護・リハクオラU
 グループホームアリエ



②あじさい苑
 〒895-0023 薩摩川内市横馬場町8-11
 ☎0996-23-6000 FAX 0996-23-6373
 薩摩川内市在宅介護支援センターあじさい
 きららクリニック
 グループホームそら



⑫アンダンテ伊集院
 〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺3-1303-10
 ☎099-272-5181 FAX 099-272-5999
 湯田内科病院
 ケアセンターリエゾン日置
 (居宅介護支援事業・訪問介護事業)



⑬ラ・フォンテいずみ
 〒899-0214 出水市五万石町281
 ☎0996-62-7005 FAX 0996-62-7008
 しもそのクリニック
 ラ・フォンテいずみ居宅介護支援事業所



⑭グリーンフォレストみかさ
 〒899-1131 阿久根市脇本字柞木迫6313-1
 ☎0996-75-3222 FAX 0996-75-3238
 黒木胃腸科外科医院
 グリーンフォレストみかさ訪問看護ステーション
 阿久根市在宅介護支援センターみかさ



⑮ライフハーバーいちき
 〒899-2103 いちき串木野市大里2901-2
 ☎0996-36-5353 FAX 0996-36-5352
 丸田病院
 吹上園・市来松寿園
 市来町在宅介護支援センター



⑯グレースホーム
 〒895-1106 薩摩川内市東郷町斧洲8920番地
 ☎0996-21-6311 FAX 0996-21-6313
 上村病院
 グレースホーム訪問看護ステーション
 グレースホーム居宅介護支援事業所



⑰ゆくさ白浜
 〒896-0064 いちき串木野市羽島265-15
 ☎0996-35-0800 FAX 0996-31-0070
 えんでん内科クリニック
 (居宅介護支援事業・訪問介護事業)
 グループホームもぜ

鹿児島地区



①城山老健
 〒890-0014 鹿児島市草牟田1-4-10
 ☎099-225-3582 FAX 099-224-4096
 植村病院
 ケアハウス出かい坂
 居宅介護支援・訪問介護センター草牟田出かい坂



②スイートケアなかよし
 〒890-0005 鹿児島市下伊敷1-1-5
 ☎099-223-3390 FAX 099-222-6541
 玉水会病院
 いしき訪問看護ステーション

③城西ナーシングホーム
 〒890-0046 鹿児島市西田1-16-1
 ☎099-258-9180 FAX 099-257-5712
 土橋病院
 居宅支援事業所(居宅支援・訪問看護・訪問介護)
 デイサービスセンター ケアガーデン西田



③ニューライフいずみ
 〒899-0217 出水市平和町336-1
 ☎0996-63-8000 FAX 0996-63-3161
 吉井整形外科内科中央病院
 ユニット型老健グランアージュ
 鶴寿園(特別養護老人ホーム)



④長生園ナーシングセンター
 〒895-0076 薩摩川内市大小路町51-3
 ☎0996-22-1121 FAX 0996-22-1120
 永井病院
 在宅介護支援センター 長生園
 グループホーム 自立の家



⑤回生苑
 〒899-1611 阿久根市赤瀬川551
 ☎0996-72-1661 FAX 0996-73-3788
 内山病院
 阿久根市在宅介護支援センター
 桜ヶ丘荘(特別養護老人ホーム)



⑥さるびあ苑
 〒896-0002 いちき串木野市春日町63
 ☎0996-32-8841 FAX 0996-32-8873
 宮之原循環器内科
 串木野市在宅介護支援センター
 慈正会居宅介護支援事業所



⑦シルバーセンター光の里
 〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺1丁目1-6
 ☎099-273-5600 FAX 099-273-5700
 前原総合医療病院
 グループホーム あったかハウス
 訪問看護ゆの里・訪問介護ふる里



⑧グリーンライフ川内
 〒895-0065 薩摩川内市宮内町磯田2633
 ☎0996-20-2500 FAX 0996-20-2570
 今村クリニック(整形外科)
 薩摩川内市在宅介護支援センター
 薩摩川内市ホームヘルパー事業(老人と障害者)



⑨パラディーノほたるの里
 〒895-2104 薩摩郡さつま町柏原493-5
 ☎0996-53-1010 FAX 0996-53-1007
 立志病院
 鶴田町在宅介護支援センター
 居宅介護支援事業所 パラディーノほたるの里

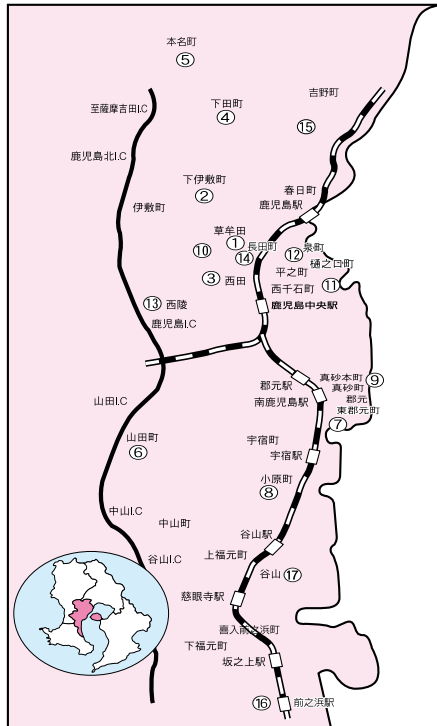


⑩グラン・ベリテひわき
 〒895-1203 薩摩川内市樋脇町市比野2995
 ☎0996-38-2500 FAX 0996-38-2600
 市比野記念病院
 翠泉苑(特別養護老人ホーム)
 指月苑(養護老人ホーム)



⑪湯の浦ナーシングホーム
 〒899-3303 日置市吹上町湯之浦1353
 ☎099-296-5411 FAX 099-296-5422
 外科 馬場病院
 居宅介護支援事業所
 (湯の浦ナーシングホーム・馬場病院)

あなたの地域の介護老人保健施設 76カ所



④さくらんぼ

〒892-0873 鹿児島市下田町1759
☎099-244-8811 FAX 099-244-8700

鹿児島市在宅介護支援センターさくらんぼ
ヘルパーステーションさくらんぼ
居宅介護支援事業所さくらんぼ



⑤吉田ナーシングホーム

〒891-1304 鹿児島市本名町472
☎099-294-4561 FAX 099-294-4562

ケアプランセンター木蓮
ヘルパーステーション ゆうばえ



⑥フレンドホーム

〒891-0104 鹿児島市山田町450
☎099-260-6000 FAX 099-268-1540

Tsukasa Health Care Hospital



⑦鴨池慈風苑

〒890-0068 鹿児島市東郡元町11-6
☎099-252-8291 FAX 099-252-5526

厚地脳神経外科病院
厚地リハビリテーション病院
在宅介護支援センター鴨池慈風苑



⑧愛と結の街

〒891-0111 鹿児島市小原町8-3
☎099-260-6060 FAX 099-284-5689

居宅介護支援事業所(居宅支援・訪問看護・訪問介護)
谷山病院
いづろ今村病院・今村総合病院



⑨ひまわり

〒890-0067 鹿児島市真砂本町3-81
☎099-285-2211 FAX 099-258-7971

大勝病院
訪問看護ステーション真砂本町
介護相談センター真砂本町



⑩まろにえ

〒890-0014 鹿児島市草牟田2-26-45
☎099-226-3270 FAX 099-226-3271

米盛病院
マロニエ訪問看護ステーション「護国」
整形外科米盛病院居宅介護支援事業所



⑪西千石

〒892-0847 鹿児島市西千石町8-13
☎099-223-3300 FAX 099-223-3560

日高病院
介護相談センター西千石
ヘルパーステーション西千石



⑫あさひ

〒892-0822 鹿児島市泉町8-2
☎099-225-8660 FAX 099-225-8601

中央病院
桜島病院
桜島苑(特別養護老人ホーム)



⑬ナーシングホーム田上苑

〒890-0032 鹿児島市西陵6-21-18
☎099-283-0120 FAX 099-283-0517

みらいリハビリテーション病院
居宅介護支援事業所はるかぜ
クレセール天保山(介護付有料老人ホーム)



⑭ナーシングホーム城山の森

〒892-0854 鹿児島市長田町223
☎099-219-1122 FAX 099-219-1123

中村(哲)産婦人科・内科
博悠会温泉病院
特別養護老人ホーム城山苑



⑮ろうけん青空

〒892-0871 鹿児島市吉野町6040番地7
☎0570-00-4330 FAX 099-243-5599

明輝会クリニック
グループホーム帯迫&ひばり
小規模多機能ホームひばり



⑯サンシャインきいれ

〒891-0205 鹿児島市喜入前之浜町7808-1
☎0993-43-1176 FAX 0993-43-1186

特別養護老人ホーム喜入の里
新田クリニック
小規模多機能 前之浜



⑰光徳苑

〒891-0141 鹿児島市谷山中央2-4515
☎099-260-9777 FAX 099-260-5093



⑦おさしお
 〒893-1103 鹿屋市吾平町麓3766-1
 ☎0994-58-5858 FAX 0994-58-5501
 グループホームきらら
 長崎内科
 陵幸園(特別養護老人ホーム)



⑧ハーモニーガーデン
 〒893-0014 鹿屋市寿4-1-43
 ☎0994-41-7800 FAX 0994-41-7802
 平和台病院
 介護保険相談センターハーモニーガーデン



⑨コスモス苑
 〒891-2124 垂水市錦江町1-140
 ☎0994-32-5200 FAX 0994-32-5280
 垂水市立医療センター、垂水中央病院
 垂水市立在宅介護支援センターコスモス苑
 居宅介護支援事業所コスモス苑



⑩みなみかぜ
 〒893-2301 肝属郡錦江町神川88-1
 ☎0994-22-3100 FAX 0994-22-3105
 肝属郡医師会立病院
 居宅介護支援事業所みなみかぜ



⑪サンセリテのがた
 〒899-8313 曾於郡大崎町野方6047-3
 ☎0994-71-0088 FAX 0994-78-3201
 はるびゅうクリニック
 居宅介護支援事業所サンセリテのがた
 介護付き有料老人ホームエコルたちお野



⑫ありあけ苑
 〒899-7402 志布志市有明町野井倉8288-1
 ☎099-477-2331 FAX 099-477-2335
 曾於医師会立訪問看護ステーション
 曾於医師会立居宅介護支援事業所



⑬絆
 〒891-2104 垂水市田神3536番地1
 ☎0994-32-6161 FAX 0994-32-6163
 池田温泉クリニック
 グループホームひまわり苑
 小規模多機能ホームひまわりの里

南 薩 地 区



①指宿温泉菜の花苑
 〒891-0402 指宿市十町418-1
 ☎0993-24-3255 FAX 0993-22-3239
 今林整形外科病院
 明正会介護支援ネットワーク菜の花
 (居宅介護支援事業所)

曾 於 ・ 肝 属 地 区



①高原ナーシングホーム
 〒899-8602 曾於市末吉町栄町2-11-1
 ☎0986-76-1170 FAX 0986-76-6530
 高原病院
 末吉町在宅介護支援センター
 末吉訪問看護ステーション



②ナーシングホームひだまり
 〒893-0024 鹿屋市下祇川町1853
 ☎0994-41-1200 FAX 0994-41-1727
 鹿屋訪問看護ステーション
 居宅介護支援事業所ひだまり



③ケアセンターやごろう苑
 〒899-8102 曾於市大隅町岩川5515
 ☎0994-82-5963 FAX 0994-82-5964
 昭南病院
 大隅地域訪問看護ステーション



④老春苑
 〒893-1207 肝属郡肝付町新富525
 ☎0994-65-1500 FAX 0994-65-1160
 春陽会中央病院
 高山町在宅介護支援センター
 訪問看護ステーションたんぼぼ

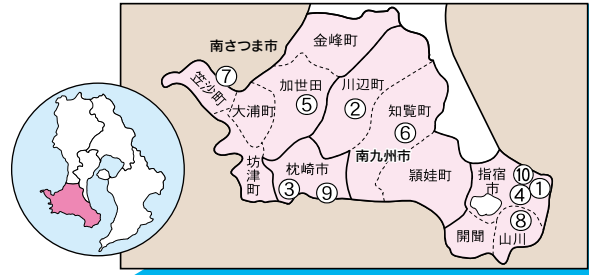


⑤ヴィラかのや
 〒893-0014 鹿屋市寿8-21-2
 ☎0994-44-0021 FAX 0994-44-1226
 恒心会おぐら病院
 居宅介護支援事業所ヴィラかのや
 訪問看護ステーションことぶき



⑥つわぶき
 〒899-7103 志布志市志布志町志布志1-13-3
 ☎099-472-5666 FAX 099-473-3494
 病院芳春苑(精神科)
 ケアハウスぬくもり
 グループホーム南の家族

熊毛・大島地区



①わらび苑
〒891-3101 西之表市西之表2981-1
☎0997-22-2600 FAX 0997-22-2601
社会医療法人義順顕彰会 種子島医療センター
わらび苑居宅介護支援事業所



②沖永良部寿恵苑
〒891-9112 大島郡和泊町和泊95-1
☎0997-92-3691 FAX 0997-92-3650
福山医院



③虹の丘
〒894-0046 奄美市名瀬小宿字苗代田3416-1
☎0997-54-8888 FAX 0997-54-8800
虹の丘訪問介護事業所
虹の丘居宅介護支援事業所
在宅介護支援センター虹の丘



④風花苑
〒891-9306 大島郡与論町麦屋字風花1305-5
☎0997-97-5011 FAX 0997-97-5012
龍美クリニック



⑤せとうち
〒894-0036 大島郡瀬戸内町大字阿木名1975
☎0997-73-1155 FAX 0997-72-4913
奄美中央病院
南大島診療所



⑥アマンデー
〒894-0504 奄美市笠利町節田字大湊1451-1
☎0997-63-1555 FAX 0997-63-0099
朝沼クリニック(診療所)
居宅介護支援事業所たちがみ
在宅介護支援センターたちがみ



⑦サザンコート
〒891-7101 大島郡徳之島町亀津7268
☎0997-83-0061 FAX 0997-83-0093
医療法人南溟会 宮上病院
社会福祉法人奄美同仁会 特別養護老人ホーム 南風園



⑧秋名の郷
〒894-0332 大島郡龍郷町幾里字浜崎179
☎0997-62-4111 FAX 0997-62-4110
秋名の郷通所リハビリテーション
秋名の郷訪問介護事業所



⑨愛心園
〒894-0032 大島郡天城町瀬滝398番地
☎0997-85-5501 FAX 0997-85-5502



②かわなべ寿光苑
〒897-0221 南九州市川辺町田部田4848-4
☎0993-56-4311 FAX 0993-56-4331
菊野病院
寿光苑在宅介護支援センター



③エスポワール立神
〒898-0048 枕崎市火之神町630
☎0993-73-2266 FAX 0993-73-2265
小原病院
立神リハビリテーション温泉病院
ピースフル立神(介護老人福祉施設)



④指宿やすらぎ園
〒891-0304 指宿市東方7531
☎0993-24-5593 FAX 0993-24-5912
指宿竹元病院
指宿みどり館(認知症高齢者グループホーム)
老人性認知症センター



⑤ラポール吉井
〒897-0001 南さつま市加世田村原1丁目10-10
☎0993-53-8888 FAX 0993-53-8788
アルテンハイムリハビリテーションクリニック本町
加世田アルテンハイム
グループホーム なでしこ



⑥シルバーライフちらん
〒891-0911 南九州市知覧町塩屋16016
☎0993-85-4095 FAX 0993-85-4096
ちらんクリニック



⑦さつま野菊園
〒897-1302 南さつま市笠沙町赤生木11372-397
☎0993-63-1000 FAX 0993-63-1950
大迫医院
フレンドリーハウス のぎく(グループホーム)
特別養護老人ホーム 石垣の里



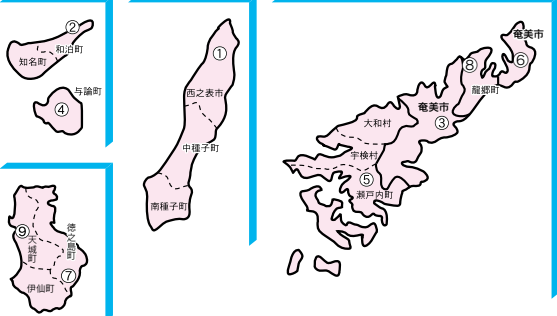
⑧ヴァンベールみどりの風
〒891-0514 指宿市山川大山2056-4
☎0993-35-3355 FAX 0993-35-3522
指宿浩然会病院
指宿訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所



⑨サザンケアセンター
〒898-0011 枕崎市緑町236
☎0993-72-8855 FAX 0993-72-9233
サザン・リージョン病院
サザン訪問看護ステーション
南方園(介護老人福祉施設)



⑩指宿温泉ケアサポート
〒891-0311 指宿市西方1050番地
☎0993-25-3653 FAX 0993-25-5393
医療法人聖仁会



3年ぶり個展開催

祝 迫 正 豊



表紙絵
「南薩の大地、早春」 M8号

今年は新年早々から3年ぶりの個展を開いた。会場は地元の画廊で9回目。今回も新作発表の場として臨んだ。新作、小品の作品と併せて、近年制作した大作300号(324×194号)と100号の油絵など、40点あまりを展示。庭先に咲く淡い色の椿などの水彩画5点も加えた。

大みそかの午後に展示し、会期は新年2日から11日間。会期中は来客対応に徹するつもりだったが、1月中旬は全国巡回展、二科展巡回鹿児島展があり、3日ほど重なってしまった。

いつも個展開催までは必死で過ごしている。なんとかなると思いつつ追い込みのひと月は、体に良いものをしっかり食べた。おかげで体調も崩さず会期を終えることができた。

個展と巡回鹿児島展が終わった翌日からは第44回鹿屋市美術展の審査会。早朝のフェリーと自家用車で移動し、2時間ほどで会場に着いた。その夜は知人の家に1泊。実に30年ぶりで熱く語った。その1週間後の開会式と表彰式に参列し、授賞者の真摯な制作姿勢と作品から力をもらった。

さらに1月末、奄美市美術展審査会に出向いた。奄美の自然を生き生きと表現した絵画や色彩豊かな児童画を審査。奄美大島のモチーフや日常が絵になった作品に接する機会を得た。夜の懇親会では島唄を聴かせてもらい、テンポの速い六調と一緒に踊った。奄美の文化を肌で感じ温かいエネルギーをもらった3日間だった。例年にない新年のスケジュールだったが、新鮮でより多感に過ごせたことに感謝したい。

今回の表紙の絵、「南薩の大地、早春」。横長Mサイズ8号の油絵。開聞岳を中心にゆったりと広がる台地の風景、ひと昔を回想しながら印象的に描いた。



- 作家略歴：祝迫 正豊 (いわいざこ まさとよ)
- 1952年 南九州市生まれ 1986年 第70回二科展「特選」、鹿児島市「新人賞」
- 1988年 第43回南日本美術展「パリ賞」翌年フランス留学、パリ市で個展、第35回県美展 県美展賞(最高賞)
- 1992年 第77回二科展「二科賞」(最高賞)、他に会友賞、会員賞
- 1993年 文化庁現代美術展選抜展(全国巡回)
- 2000年 鹿児島県芸術文化奨励賞
- 2021年 南日本美術展「委嘱作家賞」
- 2023年 第107回二科展「東京都知事賞」
- 現在、二科会会員、南日本美術展委嘱作家、鹿児島純心大学・鹿児島純心女子短期大学非常勤講師

編集後記

◇今月号の「ふるさとフォーカス」は、いちき串木野市の市来大迫家住宅。築100年超える住宅と庭は、大正期ならではの意匠と歴史が息づいています。一方で先人の知恵と工夫を今に伝えるために住人の大変なご苦労も。これまで知らなかった歴史を学ぶことができました。

◇鹿児島県で全国老人保健施設大会が2027(令和9)年に開かれます。大会開催に向けて、実行委員メンバーは3月までに6回会議を開き、昨年は山口大会を視察しました。大会成功が期待されます。

◇冬季五輪で活躍する日本選手に夢中で声援を送りました。筆者は新聞社時代に冬の五輪の紙面を担当。当時は冬季五輪で日本勢がメダル1個でも取れたら、「よしっ」と紙面作りに奮い立ったものです。メダルラッシュの今と隔世の感があります。今回、選手たちの「あきらめずに良かった」の言葉が心に響きました。(米)

編集委員 米森 俊一(県老人保健施設協会理事)

加治屋 洋(さるびあ苑)
角之上 洋一(ひまわり)

ろっけん鹿児島 (令和8年春号)

令和8年4月1日発行 通巻126号 無料

編集人 米森 俊一

発行人 今村 英仁

印刷所 濱島印刷株式会社 鹿児島市上之園町17-2

発行所 公益社団法人 鹿児島県老人保健施設協会

T 8000-0050

鹿児島市中央町8番地1 県医師会館3F

電話099(0)1047 FAX099(0)1048

E-mail:k-roken@pp.minc.ne.jp

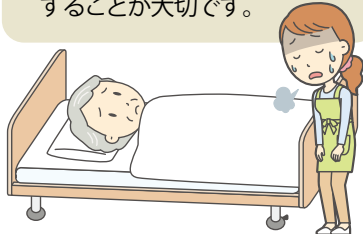
Website:https://kagoshima-roken.or.jp/



地域で支え合いましょう。

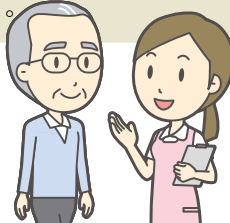
理解

虐待が起きる要因は様々です。介護する側・される側双方の不安や悩みを理解することが大切です。



見守り

ご近所に気になる高齢者や介護をしている家族がいたら、ちょっとした声かけをお願いします。



相談

困りごとを抱えている高齢者や家族がいたら、地域包括支援センター等への相談を勧めましょう。



介護負担の軽減

1人で、家族だけでがんばりすぎないで

介護保険サービスなどを上手に使うって、介護負担を減らしましょう

おもなサービス

●通所介護（デイサービス）／通所リハビリテーション（デイケア）

日帰りで食事・入浴などの介護や、心身のリハビリテーションを受けられます。＊介護者が自分の用事や外出する時間を持つことができます。

●訪問介護（ホームヘルプサービス）

ホームヘルパーが自宅を訪問し、食事、入浴、排せつなどの介護をします。

●短所入所（ショートステイ）

施設などに短期入所し、食事、入浴、排せつなどの介護や看護を受けられます。＊介護者が休養したい時、冠婚葬祭等で介護ができない時にも利用できます。

★利用には… 介護保険の認定申請が必要です。お住まいの市町村や地域包括支援センター、最寄りの居住介護支援事業書（ケアマネジャー）にご相談ください。



その他の制度や相談窓口

積極的に活用しましょう！！

制度

●成年後見制度

認知症などにより判断力が不十分な方について、本人の権利を守る援助者を選ぶことで、本人を法的に支援する制度です。

成年後見制度の利用や申立てについては、お住まいの市町村や地域包括支援センターにご相談ください。

（助成制度について）

低所得の高齢者に対しては、成年後見制度の申立て費用や後見人等の報酬の助成を行う「成年後見制度利用支援事業」による支援があります。詳しくは、お住まいの市町村や地域包括支援センターにご相談ください。

●福祉サービスしよう支援事業

判断能力に不安のある方に対する福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理、書類等の預かりなどの生活支援をするサービスです。

詳しくはお住まいの市町村の社会福祉協議会または鹿児島県社会福祉協議会にご相談ください。

相談窓口

高齢者虐待についてのご相談は、お住まいの市町村又は地域包括支援センターへご相談ください。

（連絡先記入欄）

●認知症に関する相談 【公益社団法人 認知症の人と家族の会鹿児島県支部】

（相談日／月～金 10:00～16:00） ＊祝日、年末年始は除きます。

☎099-257-3887

●若年性認知症支援相談窓口 【社会福祉法人天祐会】

（相談日／月～金 10:00～17:00） ＊祝日、年末年始は除きます。

☎099-251-4010

＊市町村及び地域包括支援センターの連絡先（電話番号）については、県ホームページにも掲載しています。

高齢者虐待防止 鹿児島 検索

